

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL II				科目コード	T1320B1			
配当期	前期・ 後期 ・集中		授業実施形態	通常 ・集中			単位数	2 単位			
担当教員名	谷川 武史		履修グループ	1H(IN/IS)			授業方法	演習			
実務経験の内容	大学の情報システム部門に4年間勤務。汎用コンピュータを用いた学内情報システム開発等に従事してきた。これら実務経験をもとに、データベース言語である SQL について実践的に指導する。										
学習一般目標	IT 市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成し、客観的な指標として信頼されている Oracle Master の新資格「Bronze」を取得する。										
授業の概要および学習上の助言	「Oracle Master Bronze Oracle Database 12c」資格試験の2科目中の1科目目「Bronze SQL 基礎」試験に対応した科目です。複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通して SQL 文を習得してください。										
教科書および参考書	ORACLE MASTER Oracle Database 12c Bronze 12c SQL 基礎 (ソフトバンククリエイティブ)										
履修に必要な予備知識や技能											
使用機器	パソコン機器										
使用ソフト	Oracle										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標									
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる									
	1・2	SQL 文を使用したデータベースの操作ができる									
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる									
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフ ォリオ	その他	合計		
	総合評価割合	60			30			10	100		
	学部 D P	1.知識・理解	30			30				60	
		2.思考・判断	30							30	
		3.態度									
		4.技能・表現									
	5.関心・意欲							10	10		

	評価方法	評価の実施方法と注意点
評価の要点	試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う。 60点
	クイズ 小テスト	
	レポート	
	成果発表 (口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点 (オプション問題はプラスα加点をします)
	作品	
	ポートフォリオ	
	その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	7章 複数の表からのデータの表示 等価結合、非等価結合	講義・実 習	実習1
第2週 /	7章 複数の表からのデータの表示 自己結合、3表の結合	講義・実 習	実習1
第3週 /	7章 複数の表からのデータの表示 外部結合	講義・実 習	実習1
第4週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 単一行副問合せ	講義・実 習	実習1
第5週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 グループ関数の使用	講義・実 習	実習2
第6週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 HAVING 句での副問合せ	講義・実 習	実習2
第7週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 複数行副問合せ	講義・実 習	実習2
第8週 /	10章 データの操作 DML 文	講義・実 習	実習3
第9週 /	10章 データの操作 トランザクション	講義・実 習	実習4
第10週 /	10章演習	講義・実 習	実習4
第11週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 表の作成、デフォルト、表の削除	講義・実 習	実習5
第12週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 制約概要	講義・実 習	実習5
第13週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 制約構文	講義・実 習	実習5
第14週 /		講義・実 習	実習5

